

各 位

会社名 日立電線株式会社
代表者 執行役社長 佐藤 教郎
(コード番号 5812 東証・大証1部)
問合せ先 人事総務本部 総務部長
石川 正昭
(TEL 03-5252-3261)

2005年1月24日

日立ケーブルプレジジョン、川西工業および宮古プレジジョンの合併について

日立電線株式会社(以下「日立電線」といいます。)は、子会社である日立ケーブルプレジジョン株式会社(以下「日立ケーブルプレジジョン」といいます。)と、日立ケーブルプレジジョンの子会社である株式会社川西工業(以下「川西工業」といいます。)および株式会社宮古プレジジョン(以下「宮古プレジジョン」といいます。)とを平成17年4月1日付けで合併させることを決定しましたのでお知らせします。

今後とも日立ケーブルプレジジョンは、日立電線グループにおけるリードフレーム事業の統括会社として、国内事業はもとより、海外で同事業を行っているグループ会社の活動を有機的に連動させることで、同事業のワールドワイドでの発展を目指してまいります。

1. 合併の理由

川西工業および宮古プレジジョンは、日立ケーブルプレジジョンの子会社として、主に金型加工用パンチ等の精密加工品の製造販売を行っておりますが、日立ケーブルプレジジョンにも同様の事業を取り扱う部門があるため、本合併により業務効率の向上および管理コストの削減を図るものです。

2. 合併の内容

(1) 合併期日

2005年4月1日(予定)

(2) 合併の方式

日立ケーブルプレジジョンが存続会社となり、川西工業および宮古プレジジョンを吸収合併する。

(3) 合併比率

① 日立ケーブルプレジジョンと川西工業の合併について

日立ケーブルプレジジョンは、川西工業の発行済株式のすべてを保有しているため、この合併による新株式は発行しません。

② 日立ケーブルプレジジョンと宮古プレジジョンの合併について

日立ケーブルプレジジョンは宮古プレジジョンの発行済株式を82%、また、川西工業は18%を保有しておりますが、この合併と同じ日に日立ケーブルプレジジョンと川西工業は合併し、日立ケーブルプレジジョンに一切の権利義務が承継されます。そのため、この合併による新株式は発行しません。

3. 合併当事者の概要(2004年9月30日現在)

	日立ケーブル プレシジョン	川西工業	宮古プレシジョン
(1)代表者	取締役社長：坂東 良則	同左	同左
(2)本社所在地	山形県米沢市芳泉町 901 番地	新潟県中魚沼郡川西町伊 勢平治 711 番 3	岩手県宮古市田鎖第 3 地 割字袴沢 14 番地
(3)事業内容	電子部品及びその材料等 の製造及び販売	プレス金型及びモールド 金型部品等の製造及び販 売	プレス金型及びモールド 金型部品等の製造及び販 売
(4)設立年月日	2000年12月1日	1984年8月30日	1988年8月9日
(5)資本金	400百万円	20百万円	30百万円
(6)発行済株式数	8,000株	400株	600株
(7)株主資本	756百万円	125百万円	20百万円
(8)総資産	7,505百万円	148百万円	86百万円
(9)決算期	3月末日	3月末日	3月末日
(10)従業員数	348名	17名	16名
(11)大株主及び 持株比率	①当社 100%	① 日立ケーブルプレシ ジョン 100%	① 日立ケーブルプレシ ジョン 82% ② 川西工業 18%

4. 合併当事者の最近3年間の業績

(1)日立ケーブルプレシジョン

	2001年度	2002年度	2003年度
売 上 高	328百万円	3,940百万円	9,674百万円
経 常 利 益	△75百万円	158百万円	453百万円

(注)日立ケーブルプレシジョンは、2002年5月1日付で株式会社キツダの全事業を譲り受けております。また、2003年10月1日付で、日立電線からリードフレームの製造・販売事業を移管されております。

(2)川西工業

	2001年度	2002年度	2003年度
売 上 高	127百万円	134百万円	171百万円
経 常 利 益	2百万円	20百万円	44百万円

(3)宮古プレシジョン

	2001年度	2002年度	2003年度
売 上 高	107百万円	139百万円	152百万円
経 常 利 益	△12百万円	13百万円	23百万円

5. 合併後の状況

(1)商号	日立ケーブルプレジジョン株式会社
(2)事業内容	電子部品及びその材料等の製造及び販売
(3)本社所在地	山形県米沢市芳泉町 901
(4)代表者	取締役社長：坂東 良則
(5)資本金	400 百万円
(6)決算期	3 月末日

6. 当社業績に与える影響

本件が、当社個別業績に与える影響は、ありません。

本件が、当社連結業績に与える影響は、軽微なものにとどまるものと思われま

以 上